



## 未来の自分は

突然ですが、5年後、10年後の自分の姿をイメージすることはできるでしょうか。自分の姿をイメージし、そこに至るための道筋を考えていく。それが成功のカギだといえます。

世界的な野球選手で、アメリカなどでも活躍したイチロー選手。彼が小学生のとき、卒業文集に書いた文章を紹介したいと思います。

”ぼくの夢は、一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学、高校でも全国大会へ出て、活躍しなければなりません。活躍できるようになるには、練習が必要です。

ぼくは、その練習にはじしんがあります。ぼくは3才の時から練習を始めています。3才～7才までは、半年位やっていましたが、3年生の時から今までは、365日中、360日は、はげしい練習をやっています。

だから一週間中、友達と遊べる時間は、5時間～6時間の間です。そんなに練習をやっているんだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。そして、中学、高校で活躍して高校を卒業してからプロに入団するつもりです。

そして、その球団は、中日ドラゴンズか、西武ライオンズが夢です。ドラフト入団でけいやく金は、1億円以上が目標です。ぼくがしんのあるのは、投手と打げきです。去年の夏ぼくたちは、全国大会へ行きました。

そしてほとんどの投手を見てきましたが、自分が大会ナンバー1投手とかくしんできるほどです。打げきでは県大会、4試合のうちに、ホームランを3本打ちました。そして、全体を通して打りつは5割8分3厘でした。

このように、自分でもなっとくのいくせいせきでした。そして、ぼくたちは1年間まけ知らずで野球ができました。だから、このちょうしで、これからもがんばります。

そして、ぼくが一流の選手になって試合にでれるようになったら、お世話になった人に招待券をくばって、おうえんしてもらうのも1つです。とにかく一番大きな夢は、プロ野球選手になることです。”  
(『僕の夢』鈴木一朗 より)

実際には、イチロー選手はここに書いてある夢以上のことを成し遂げました。

未来の自分をイメージしよう！ Dreams come true！

1-3 担任

## 「継続は力なり」

最近一年生のどの教室も、休み時間には単語を練習したり問題を出し合っている姿、昼休みには多目4Aの教室で学習をしている姿が多くみられます。このような日々の努力の結果、英語ではかなり単語を覚えることができ、授業中に自分が覚えた単語を使って表現しようと関心・意欲の高まりを感じます。今まさに、点から線ができあがろうとしています。野球でいえば、ヒットの積み重ねがスコアに繋がるのと一緒です。一人ひとりのペースが違っていても、確実に力がついてきているのがわかり、私もやりがいがあり嬉しい毎日です。これからも誰のためではなく、自分のために「勉め(努め)」を「強いる」ことを続けて自分の可能性の翼を広げていきましょう。

さてこの一年をしめくくる学年末テストまであと2週間あまりとなりました。教科ごとに具体的な目標(教科ごとに何に取り組むか)を決めて、ひと目で努力したことがわかるようにしていきましょう。一年間の中で最高の結果にできることを願っています。

“You can do it !!!” 「継続は力なり!!!」

学力向上 G 担当

## 勇気をもって挑戦しよう

日常生活の中で、良いことだと分かっているのに、行動に移すのをためらってしまうことがあります。なかなか一歩が踏み出せなかったという経験はありませんか。このような思いに流されることなく、良いこと、正しいことを行動に移すには、勇気が必要です。身近な生活の場で、小さな勇気が必要になる場面は、考えてみるともっとあるのではないのでしょうか。「苦手なことにも挑戦してみる」「まだ仲良くなっていない友達に、自分から話しかけてみる」「間違っただけをやってしまったときは素直に反省し、行いを改める」など、そうした場面で小さな勇気を奮い起し、実際の行動への一歩を踏み出してこそ、私たちの「人としての力」は大きく育っていくと思います。先日の「あすチャレ」では障がいを乗り越え、スポーツなどに挑戦していく姿から「勇気をもって挑戦する」大切さや「想い」を「行動」にできるような勇気を持つことを学びました。1年生の皆さん「明日へチャレンジ」です。

学年主任